

ICUグローバル言語教育研究センター主催 連続講演会  
日本語教育における「学びのユニバーサルデザイン」を考える  
第2回講演会

「現場の教師に求められる知識と態度」  
ディスレクシア

学習者の多様化に伴い、認知的な特性から日本語学習に困難を抱える学習者も増えています。

本講演では、日本語の読み書きにおける困難さはどのような形で現れるのか、教員としてどのように学習を支援すべきか、そのためには何を知っておくべきかについて、日本語教育における読み書き障害支援をテーマに研究を進めていらっしゃる池田伸子先生にお話をいただきます。

日時 **2019年3月6日 (水)**  
13:00~15:00 講演  
\*受付12:30~

参加費  
無料

場所 国際基督教大学  
東ヶ崎記念ダイアログハウス 2F 国際会議室

講師 **池田 伸子 氏**  
立教大学 副総長 (国際化推進担当)

講師プロフィール

【専門領域】

日本語教育、教授法開発、インターネット、学習者特性、教授法

【研究テーマ】

外国語教育におけるメディアやテクノロジーの活用を、①学習スタイルや認知スタイル、母語や文化的背景等の学習者特性との関係、②遠隔教育、e-learning、オンラインテストなどの時間や場所を超越する効果的な学習環境の提供という点から研究している。

近年は、学習障害の1つであるディスレクシアを抱える学習者に対する効果的な日本語教育の方法について研究を行うとともに、多文化共生社会に必要とされる日本語教師養成、外交戦略としての日本語教育の効果の検証にも取り組んでいる。

お申込はこちらのURL/QRコードから  
【URL】 <http://bit.ly/2Syrn8y>

